

ステーション

co.op

3

2013
MARCH

215円

特集

新しい美術館、素敵なカフェ、
時を刻む名建築、セレクトショップ…。

阪神間さんぽと、 カフェめぐり。

●王子公園 ●岡本 ●芦屋
●苦楽園 ●西宮北口
5つの町をめぐりましょ!



特集

春を味わう、 和食の名店!

和食の昼膳、おすし、夜の懐石、
お酒の肴、みんな大好き。

心も華やぐ、早春の幸。
あなたの町の、
和食の名店で、
ほっこり、舌つづみ…!

特集

紅梅、白梅、春を告げる
可憐な花に会いに…。

早春の梅を、 見に行こう!

神戸「杏杏」で教わる、
広東家庭料理の晩ごはん
枝元なほみさんの、
春待ちハンバーグ

ホームページ www.coop-net-station.net

ご意見・ご感想をお寄せください 受付●月～金曜 10:00～17:00
編集室直通ダイヤル ☎078-842-3636

どうする? 「胃ろう」

取材・文/上村悦子 イラスト/清水みどり



アドバイスをいただいたのは…
長尾クリニック院長
長尾和宏(ながおかずひろ)さん

1984年東京医科大学卒業後、大阪大学第二内科入局。市立芦屋病院内科医長を経て、95年尼崎市に長尾クリニックを開業。複数医師による365日年中無休の外来診療と24時間体制での在宅医療を行っている。医学博士。日本尊厳死協会副理事長・関西支部長。朝日新聞医療サイト・アピタルに「町医者だから言いたい!」を連載。主な著書に『「平穏死」10の条件』(ブックマン社)、『胃ろうという選択、しない選択』(セブン&アイ出版)、『町医者カシリーズ』(エビック)など多数。問い合わせ/☎06・6412・9090 www.nagaoclinic.or.jp

「義父(84歳)の認知症が進んで、食事をすると、のどに詰まらせることが増えてきました。医師から『胃ろう』をすすめていますが、どうしたらいいですか?」

胃ろうとは、人工栄養法のひとつで、おなかに穴をあけてチューブを通し、胃に直接、栄養や水分を入れる方法です。高齢になったり病気などで口から食事ができなくなった人が対象となります。もともと、障害があつて口から食べられない子どものために開発された栄養法でした。

十数年前までは鎖骨の下から点滴する「中心静脈栄養」や鼻からチューブ栄養

養する「胃管栄養」が行われていました。その後、内視鏡技術の発展によって、胃ろうが開発され、瞬く間に普及しました。現在、鼻からチューブを通して胃に注入する「経鼻経管栄養」もありますが、苦痛が少なく安全な胃ろうはもっとも優れた人工栄養法です。

たとえば、認知症で食欲が衰え、体力も低下してしまった方が、胃ろうをつくって栄養状態が改善。体力も回復してまた口から食べられるようになったケースも多々あります。食べられる時は口から、無理な時は胃ろうで使い分けている方です。

一方、筋萎縮性索硬化症(ALS)など神経難病で、意思疎通は可能で筋肉の委縮で食べ物が飲み込めない方にとつての胃ろうのように、生きるために必要な胃ろうもあります。

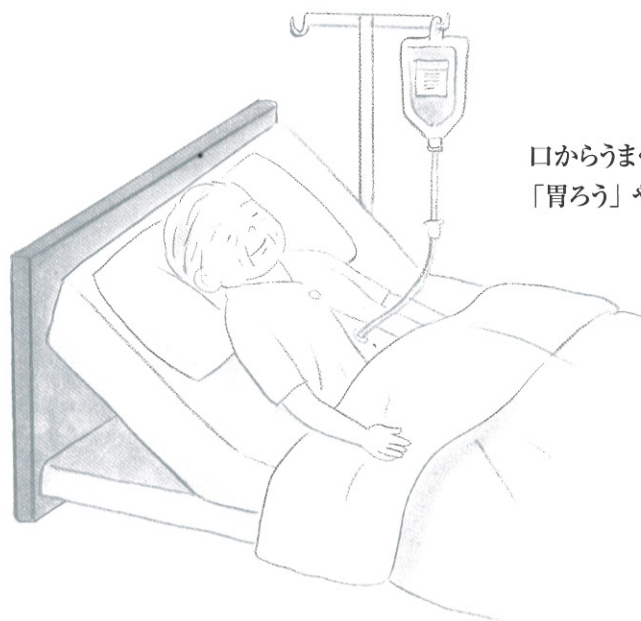
一度つくと中止が難しい胃ろう

こうした必要な胃ろうと違い、今、問題になっているのは、老衰や認知症の「終末期」の延命処置としての胃ろうです。日本ではその数がこの10年で10倍に増加し、胃ろう人口は現在40〜60万人ともいわれています。しかし、いったん造設すると、末期状態でも簡単には中止できないのが現実です。

多くの方が「延命治療は受けない」と口頭で希望していても、認知症が進行して意思表示ができなくなれば、造設の判断は家族に委ねられます。医師から「胃ろうしか方法がない」と言われると、家族は拒否できないのが現実でしょう。とりあえず胃ろうを選択したものの、のちに、中止したいという相談も多いです。

これだけ胃ろう人口が増えている理由は3点です。一つは、「胃ろうをつくらないと患者さんが餓死する、延命こそ医者者の使命」と信じている病院医師が多数であること。二つ目は、胃ろうをつくらないと家族から訴えられる可能性があること。三つ目は、急性期病院ではのちに、退院・転院の必要が生じるために、胃ろうを選ぶこともあります。

私は原則、会話ができればようなら、口から十分食べられると判断します。胃ろうが激増した背景を理解されたいのでの判断をおすすめします。(次号では症例も含め、具体的に紹介します)



口からうまく食べられなくなった患者さんへの人工栄養法には、「胃ろう」や「輸液」などがある。

- 「胃ろう」… おなかの皮膚から胃壁に内視鏡で「ろう孔」を開け、管を通して水分や栄養剤、流動食を注入。
- 「輸液」… 鎖骨下の中心静脈に埋め込んだカテーテルや、おなかや太ももの皮下、腕などの末梢静脈への点滴注射など。

胃ろうの断面図

